

19/6/17 河村たかし名古屋市長定例記者会見 名古屋城部分
(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

【記者】幹事社からお願いします。名古屋城の木造復元の関係ですが、前回会見で文化庁から回答をいくつか求められているお話ありましたが、現状その辺りどうなっているのか。

【市長】6月3日に皆様に5月17日に文化審議会に諮問された確認事項への回答を求められた旨報告しまして、それから進捗については連絡は特にとっておりません。グッドニュースを待っとるところでございます。まあ、まあそういうことです。

【記者】市から御回答したということですか。

【市長】確認事項がございましたので、事務レベルで調整は行っております。調整と書いてありまして、その他は言わなくて頂戴と。

【記者】文化庁から石垣への影響等々回答を求められたことに対して市から回答を投げ返したということですか。

【市長】いやまだ調整段階調整。はい。

【記者】調整段階。それはいつごろまでと言われてはないのですか。

【市長】なるべく近いところ、近々にも提出したいと今考えるということでございます。

【記者】近々というとどれくらいのイメージ。

【市長】まあ、アズ・スーンナ・アズ・ポッシブル。

【記者】一緒やないか。

【市長】イミーデットリー。レディ・トゥ・レディ。まあ早いとこ。

【記者】市としては回答を投げ返して、すぐにこうなにか進捗すると考えにくいですか、いつごろまでに許可を得たいとかありますか。

【市長】何遍もいっておりますが なるべく早くというか。

ええ、お願いしとりますんでね、グッドニュースを待つよりしょうがない。

【記者】参考関連で、グッドニュースを待つんですけど、どのぐらいで回答が、どのぐらいの時期に回答が得られるというふうに予想してますか。

【市長】予想というか、早うオツケーしてちょうよということにつきますがね。お願いしとると。気持ちを届けとる。

【記者】例えば今月中とか、例えば来月中だとかないですか。

【市長】そりやなるべく早い。
なるべく早いほうが、地震で建物が危ないですから。これ。
早くちゃんとしないと、いけませんわね、ほんとに。

【記者】あと許可の見通しってどうか、見込みについては。

【市長】まあこちらとすれば、ベスト尽くしてまいりましたし、建物を取り外さんことには調査もできませんすわね。危なて。Is値 0.14 と数値は分かっておりますので、そんな建物はもうありませんから。ここのとこで。

下で調査するんでしょ、調査すること自体が危ないと、ただ地震ですから皆さんはそんなもん起こらせんわいと勝手に思っただけであって、日本中そういう一定の基準によってほとんど耐震をどうするか、取り壊したり、耐震改修したりやっとなるわけですけど。

ところでまあ耐震改修ということをやることについては、名古屋は何遍もタウンミーティングをやってきて、それから一定のアンケートもとりまして選挙もありまして、議会の予算も通って、まあ、いわゆる耐震改修、

当時言われておったのは 30 億でしたかね、30 億で標準 50 年という方法は取らないと。

木造を造ることによって耐震性を確保するという選択をしたわけです。これは。

選択をして今のような民意を得て文化庁もその方法で技術提案・交渉方式という方式でどうぞと、その代わり丁寧に説明してくださいよと。そこまでやってきましたので早くやらないといかんわね。これ。

そのままを放かっておくことはそんなことはできんでしょ。

危なくて調査もできんでしょ。下におる人。

地震でパターンと倒れることはあんまりないだろうと言われてますが、

揺れると銅板がありますけど瓦の部分もあったり、いろんなものが崩れてきますんで、

物凄い危ないですよ。45 メートルありますんで一番下からだと。あの建物。

だから、現実に入場禁止をした。

外国人の皆さんに、そんな危ない建物、日本人もそうだけどそんな危ない建物に来てくださいよと言えないでしょう。

そういうルールないかと調べただけど、そういう外国人、そういうことを直接に書いてあるルールはないみたいですよね。そういう状況だということですよ。

まあ本丸御殿で頑張っておりますんで入場者がかえって増えたりしている状況ですけど、これは。

本来はやっぱり地方自治法 2 条だったかな。

地方自治体というのは最少の経費で最大の効果を上げないかんという。

そういう規定もありますので、ちゃんと入場者数を確保して、なるべく税の負担、市民の負担を少ないようにしんといかんですよ。

もう 1 年も入場を止めておるです。

もの凄いこれ異常な状況ですよ。これ。

【記者】先ほどの耐震制度ですけど、これは文化庁の許可に関してですね重要な論点になっているという感じなんですか。

【市長】そりゃなるでしょう。それは。

そりゃ、地震で壊れるような建物をです。

これも数字も出とった Is 値 0.14 数字は、わかっとつてですよ。

現にそれより悪い建物は名古屋では全部取り壊しました。

一番最後にやったのは中公設ですね。中公設市場あれを取り壊しました。

そういう状況というのは、やっぱり当然、お考えいただいておりますよ。

【記者】市長、先ほど民意っていう話がありましたけど解体を先行して仮に復元までに時間が空いた場合、城がない状態が続くことがありますけど、あるとするとその民意は理解がえられているとみられてるのか。

【市長】とにかく木造復元をしようという人が多いでしょう。

【記者】勿論そりゃそうなんです。

【市長】今でもものすごい多いですよ。

【記者】ただ、わかんないですけど、一般的に木造復元に賛成されているかたでも解体されてすぐ復元するというイメージを多分皆さん持たれていると思うんですけど。

今回ですと復元許可はいつ取れるかまだわからない状況の中で、解体だけを先にして、城がないの続くのをよしとするつもりでいらっしゃるということですか。

【市長】一般的には木造で作ってくれてという人が多いですから、何といても。それからなんかコンクリートの城が民主主義で作られたようなことをいわれているところがちょっとありますけど、いつきますけど中日新聞の昭和23年のアンケートにも出てますがなあ、皆さんにもお知らせしたと思いますが、ありますから、もしご希望の方はいつもらえれば、そんときに6割だったかな。昭和23年で木造復元が、希望される方がたしか5割5分から6割でなかったかな。

【記者】4

【市長】4？

【記者】44%です。

【市長】それにあれが、それが何、比率に直すと6割ということか。

【記者】いやいや2位がコンクリートで30何パーセント。

【市長】そりゃそういう意味で、比率的に直した僕の印象ではだいたい6割の方がどうするかについては木造と考えておったと、コンクリートでやれという人が少なかったと当時から、昭和22年から。

まあ、1回持ってくると、新聞記事にでておりますが。

23年の時から、私の生まれた年だからよう覚えている。そもそも。

だから、戦後のああいう大変な苦しい時代の時でも名古屋の人は木造にして欲しいと思っただけです。

その後、まあ一つおもしろい話をすると。

横井さんが、横井正一さんが帰ってみえたときに。

横井さんのインタビュー記事がありますけど、お城を観られてどうですか。

前の城のほうがよかったなあと答えています。横井さん、これ。

それからこれ名古屋タイムズの記事ですけど。

あの当時どうするかということになって、まあお金をどうするかという話になりまして、それもありますから本物が、いついただければ市長室にありますので。なって、まあ募金の会の会長は当時の愛知県知事だった桑原幹根さんが会長というような仕組みをちゃんと作って、寄付金の分担をちゃんとして集めていくと。

そういう記事がありますね。あんまりいうと感じ悪いですけど。
今の名古屋城の場合は本当の市民寄付というのであって。
小学生十円募金とかそういうの、
企業の寄付もありますけど、
本当の中小企業の方もようけおりますよ。もしも木造出来んかったら返してくれとってますよ。
それで3億、どうなったかな。一番新しいのでどうなってる。3億3千万。3億4千万くらいなっておらんへんかなあ。確か。
ちょっと一番新しい数字は。確か3億3千万は超えたんじゃないか。
ちょっとええ加減のはいけませんけど。そんな風になっておる。
熱い市民の期待があると。
熊本の場合は6億とか7億集まりましたけど、あれは震災のときも一緒にありましたもんでね。
みんなで熊本助けようかという期待も同時にありましたそうですね。

【記者】それと、2022年12月完成に間に合わせようと思うと最悪、何月まで許可を得たいと。

【市長】なるべく早ようということで、ただし工期短縮というふうな短縮については、やっぱりなるべく早くやった方がいいと聞いておりますけど、いろんな努力はできるようなふうに聞いてますけど。

【記者】ただある程度は短縮はできると。

【市長】今の技術はすごいですし、聞いてますけど。

【記者】例えば今回、仮の話ばかりで申し訳ないのですが、許可が得られないとして、秋になった場合でも、それは間にあうという話でしょうか。

【市長】そんな縁起でもない話しとったではしょうがないでしょう。これは名古屋人が熱い期待で早く作って、世界のお宝を名古屋で造って千年大切にすると皆さん感謝されますに。
いろんな所まわっておりますけれど、私も70ですけども、歳食った人に特に早く造ってくれと、やっぱり自分の寿命が尽きるじゃないかということはいっておられますわね。歳食った人は。とくに名古屋城に登った人もまだご健在な人もありますでね。
まあ一刻も早くやってちょっと願いますよりしょうがないわね。

【記者】すいません市長、2022年末の目標を当初掲げていらっしやたじゃないですか、そのなんで2022年になったのか、その理由を改めておしえていただきたいなあと。

【市長】ありや一応技術提案・交渉方式で初めありまして、そういう流れの中で、一番最初はオリンピックまでにどうだという話もあったくらいでした。

そういう流れの中で、どっから出てきたかというのはそのへんのところととなって、まあ 2022 年そこを目標にして造っていこうと今議会にも話しているということですかね。ゆっくり造ればええという問題じゃないですかね建築物は。そういうものちょっと違うと思いますし、石垣の調査についても繰り返し申し上げておりますが、

【記者】石垣って

【市長】一遍、聞いてみたらどうですか、その石垣の実際に工事をされる会社がありまして、信長以降それ、その人が私にそういってもええといったら、いいよ。あるいみこういう石垣のいろんなもんで多分名古屋城が一番丁寧にやられてると、素晴らしいじゃないですか。

その後もさらに石垣をもうちょっとやろうと思ったらやっぱり上の天守を、コンクリート部分を取り外すということになると、ほりゃ取り壊すときに石垣への影響がないようには十分配慮できないんですけど、そのほうが石垣についても調査しやすくなると、これは丁寧な調査ができるということはそのや当たり前なことでもいいことですよ、とほう言ってますよ。

こんな丁寧にやっているとこないですよと言ってもいいですか。

いっていいですよと言っていました、名古屋城の石垣調査は。

パーフェクトだねえ。だからそのどこまでがパーフェクトなのかという問題はありますわね。これ。

石一つをほじやどこからどの角度からどういう圧力で、この石に圧力がかかったら本当にこの石が崩れ、壊れるのかどうか。ほりゃわからんですよ。

資料なんか読んでますとでそういう調査をやっちゃいけないとか書いてあるものもありますね、崩れますから。

それで鉄骨だったら別に次のスペアもってればいいですけど石の場合、歴史的ないろんな慶長期だとかいろいろありますけどそういうのは壊してしまったらいかんでしょ、だからそういう調査するべきではないと書いてあるのもある。

【記者】その 22 年末、例えば 20 年だったら五輪だからってというのはわかるんですけど。22 年末の意味は。

【市長】あれは何でだったかなあ。ちょっと当時の記憶がね。いろんな議論がありましてという話でなかったかなあ。

【記者】これ 22 年末から遅らすと、どうしてまずいんですかね。

【市長】議会にも約束しておりますし、なるべく早くやるというのは当たり前のことですし、工事というのは遅らせればいいものができるというものでもないんですわ、これ。

早く天守に登ってもらうためにもありますし、そう思いますけど。

それに対して、名古屋市としては、市民の皆さんに申し上げたいのは。

今の石垣の専門の業者からはナンバーワンだと名古屋市の石垣の対応については。

そこまでやってきていると。こちらはこちらでできる限りのことはしていきましよう。今後、他の天守がどうなるか知りませんが。

戦争で燃えてコンクリートになったのは7つあるのかなあ。有名なところでは広島とかね、たくさんありますけど。

そういうお城がまず図面の関係があるのでどういう対応を取られるかわからんけど。

そういうののリーディングケースになっていくことになっていくと思いますんで。

丁寧な上にも丁寧をお願いしますっていうのは、文化庁が言っていることです。それは承知しております。ということで現にちょっとスケジュールを遅らせたでしよ、これ。

ああいう石に一個一個番号付けて全部調査しとんだでね、あれ。一遍見てこりゃいいがね、見てきて石の中にひびが入るとんのがありますんで。

この石は実際ほんとに危ない、外してみてもいいのかということも問題だという説もありますよ、これ。

そういう中で、最高の技術と、心配しながら歴史的事実を大事にしながら、精一杯のことを名古屋はやらしていただいております。記者会見で、市民の皆さんにぜひこれは私ども名古屋市が自信を持って言えますからね。

こんだけやったとこはないといっていますから。こんだけ丁寧にやったとこ。

普通の建築物だと全部バラバラにしてですよ、ほんじゃ、

全部バラバラにして一個一個、耐圧を調べることはやらん方がいいという説もある。

そもそもそれは、石垣の場合は。それとこれは何遍も初めての人もいるでいかんかもしれんけど。あの中にケーソンというコンクリートの塊が入っておりまして実は石垣の中に。7000トンか位かもっとあるんじゃないかとわれていますが、そこからとっておりますんで荷重を。

熊本の石垣もテレビでよう報道されましたんで。

石垣が全部崩壊したように見えますけど、大天守の石垣は無傷でした。12センチ沈んだだけ。

内側はちょっと痛んでおりますけれども、なぜかというとの熊本の天守も同じで8本コンクリートパイプが入って、中に。石垣の上ののっていないんですよ実は、荷重が。コンクリートパイプで支えている、名古屋城はケーソンで支えている。